

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第296号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2011年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

## 東海大学進学相談会開催

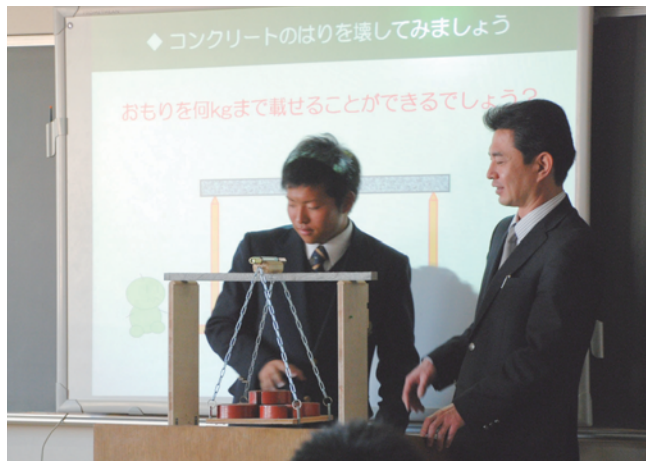
### 感動のヨーロッパ研修 良間を広めて無事帰国



デンマーク、フレデリクスボー城前にて(ヨーロッパ研修)



熱心に聞き入る高校2年生(進学相談会)



わかりやすく説明していただきました(進学相談会)

## 2010年度学校運営方針

### 生徒に対する指導全般において、 教員間、教科間、学年間、分掌間で 連携を取りチームワークを重視し、 組織として生徒指導に当たる

昔は、授業のやり方や生徒指導の方法は、先輩教員の指導方法を見て盗めと言われました。現在でも学校によっては他の人の授業を見ることが出来ない学校もあるようです。

本校では全ての授業がオープンになっているため、誰の授業でも自由に参観することができますし、中等部のTT(チーム ティーチング)型授業や、アクティブボードの出現で、授業開発はチームで取り組む条件が満たされました。また、SSH校に指定されたことで、いくつかの教科がコラボレートする授業も取り入れられています。

授業のみならず、生活指導や進路指導などにおいても、学年全体、学校全体で生徒指導にあたろうという姿勢が貫かれています。

### 新学習指導要領に対する指導方法の 研究に取り組む

2013年4月入学生から年次進行によって段階的に適用(ただし、数学・理科については2012年4月入学生から先行実施)される新学習指導要領の改訂に伴い、現在本校では新しい教育課程を作成しています。建学の精神や理念を基盤として、現代文明論的な視点を常に意識しながら、文武両道や文理融合などに配慮したカリキュラムを編成するよう研究が進められています。

英語教育の充実、SSH活動を等して習得した特徴ある理科・数学教育、アクティブボードを活用した双方向の授業など、本校ならではの特徴ある教育スタイルを盛り込んだ新カリキュラムの編成が進んでいます。

# 東海大学進学相談会開催

1月8日(土)、高校2年生を対象とした「東海大学進学相談会」を開催しました。246名の保護者の方々にもご参加いただきました。大学の先生方から直接説明を聞くことができた貴重な機会でした。生徒たちは自分の選んだ2つの関心ある学部の説明を、熱心に聞いていました。午後は、教員研修が行われました。大学側3~4名に対し本校教員が7~8名で、お話をうかがいたくさんの意見交換を行いました。3月の付属高校生のためのオープンキャンパスも含め、進路決定に大いに役立ててほしいものです。

## 生徒より



### 将来の選択に向けて

**赤羽 龍**

2年5組 横浜市立矢向中学校出身

今回の進学相談会を終えて一番思ったことは、大学に行って自分の力を伸ばしたいということです。大学の先生方のお話をうかがい、大学では自主性を重んじられていると感じました。大学は自由な場を提供してくれていると思いますが、自由な環境でこそ自分で考え、自分でやっていかなければ

いけないと改めて思いました。私は自分の人生を歩んでいく上で何らかの資格を取って、その資格を糧にして少しでも社会の役に立っていきたくて学部を選択しました。進学相談会に臨むにあたっては自分の将来像を思い浮かべて、何が必要なのか、何が自分にとって大切なのかをよく考えて選択するのがいいのではないのでしょうか。学部選択が将来の全てを決めるとは思いませんが、大きな足がかりとなると思います。大切なのは自らの選択に責任を持ち、迷いや悔いを残さないよう自分自身を信じて歩いていくことだと私は考えます。その選択のために多くの情報を得ることは非常に重要です。相談会はそのためのいい機会となってくれたと思います。

## 大学の先生より

### 進学相談会に参加して

**小川 吉明**

東海大学医学部医学科准教授

皆さんにとって将来を決める大切な時期に進学相談会に参加させていただき、責任と同時に光栄であると感じております。私自身、本校(高輪台)の卒業生で、その縁もあり昨年度より進学説明会で学部の説明をさせていただいております。泉岳寺から学校までの道のりを懐かしく感じながら昨年は約30年ぶりに母校を訪れました。校舎は近代化され、当時の面影はなくびっくりしました。また、男子校から共学となり校内の雰囲気もかわっていました。生徒さんが礼儀正しく、挨拶もきっちりしておりOBとしてうれしく思いました。説明を受けられた生徒さん、保護者の方々の真剣な眼差しが印象的でした。また、先生方と直接意見交換できたことは、とても有意義で

あったと思います。今後、付属高校と大学間の連携はさらに重要になると考えます。可能であればぜひオープンキャンパスに参加していただき、実際に医学部/付属病院を見学し、疑問に感じる点や皆の前で聞きづらい点などを解決していただきたいと思います。

将来どのような仕事に就くか、さらには夢をどのように実現するか、悩み考えしっかりと自分の進路を決めてください。もちろん、ご両親や先生、友達の意見を参考にすることは大切であると思います。しかし、決めるのはあくまでも自分自身です。汝の希望を星につなぐため頑張ってください。



## 教員研修



午後の教員研修では、東海大学3~4名に対し、高輪台高校7~8名の全8グループに分かれ、質疑応答を含め90分、忌憚のない意見を交わしました。今回、高校側は教員それぞれが希望のグループに参加したこともあり、最新の大学情報を得るとともに、お互いの問題点、疑問点を持ちあつての活発な検討、討議が行われました。

# 中等部1学年だより

## ☆ 2010年を振り返って ☆

2010年は中等部に入学して初めてのこと尽くしの1年でした。約1年経って、大きく成長してくれています。

### 去年一番頑張ったこと

阿部 美鈴

1年A組 江東区立第二辰巳小学校出身

2010年、私は建学祭実行委員を頑張りました。友達みんな学年の発表準備をしたり、合唱の練習をして、3時頃に下校しているのに、実行委員として、教室の見回りやポスター貼り、鍵の貸し出し、廊下の掃除、ご近所の方への挨拶とチケット配りなどの仕事をしました。

建学祭当日も友達はいろいろな所を回っている中、受付や、本部の仕事、バザーのお手伝い、見回りなどをして、自由な時間は2時間ほどしかなくて、とても疲れました。しかし、終わった後はとても達成感があり、振り返ってみれば、とても楽しくできたのでよかったです。

今年は2年生になり、後輩も入学してくるので、去年よりももっともっと頑張ろうと思います。

### 反省をいかして

北郷 颯

1年B組 板橋区立志村小学校出身

去年僕が頑張ったことは、英語です。最初はできていたのですが、だんだんと英語が苦手になってしまいました。しかし、先生がわかりやすく教えてくれたので、少しずつできるようになっていきました。それから家でも英語を勉強するようになりました。

去年を振り返って改善すべきだったことがあります。まず1つ目は授業中に友達とおしゃべりをしてしまったことです。授業中に話をしていて、先生に注意されたことが何度かありました。そして大切な説明を聞き逃してしまったことがあります。2つ目は提出物をあまりきちんと出せなかったことです。

今年は以上のことを改善できるように頑張りたいです。

## ☆ 2011年はこんな年にしたい ☆

新年を迎え、今年は中等部2年生になる年です。人それぞれ、さまざまな抱負や目標を立てているようです。

学習面	宿題はためこまずに、出されたらすぐ終わらせるようにする。(1A 澤崎 浩太郎)
	提出物を期限までに出し、忘れ物をしないようにする。(1B 加藤 里紗)
生活面	1日1回、誰かに「ありがとう」と言われるような行動をする。(1A 阿部 美鈴)
	朝ごはんをしっかり食べる。(1B 木下 一平)
部活動	たくさん食べて体重を増やす。(1A 高林 海人)
	優しくて頼れる先輩になれるように頑張る!(1A 渡邊 真由)
その他	韓国語を話せるようになりたい!(1A 北郷 千聖)
	少しでも新聞を読むようにしたい!(1A 大谷 拓摩)
	自分の好きな曲をギターで弾けるようにする。(1B 根本 佳大)



「 皆 の 抱 負 」

# 中等部 2 学年 だより

## 2011年 今年の抱負

新しい年を迎え、各クラスから「今年の抱負」を語ってもらいました。今年、中学生として最終の学年になる意気込みを聞いてみましょう。

### 瀧澤 紗樹

2年A組 中央区立久松小学校出身

今年の抱負は人に優しくすることです。昨年たくさんの人に会いましたが、私はその時々気分によってかなり対応の変化が激しく、迷惑をかけてしまったことも多かったと思います。今年は、昨年よりもたくさんの人と会えるようにし、自分の気持ちに流されないように気を付けて1人ひとりに優しくしていこうと思います。また、そのために自分の気持ちや気分を制御していきたいです。イライラしたり、不機嫌になってもそれを抑えることができるようになってから、他の人に優しくできれば他の人も気分が良いだろうし、私も結果的に良くなると思います。できるようになるまでにはいろいろと失敗すると思いますが、今年中にはできるようにして、ハイレベルな人間になりたいです。



やるぞ!

### 千葉 琴美

2年B組 荒川区立第五峽田小学校出身

私の今年の抱負は「文武両道」です。中学に入ってから一度も文武両道ができたことがないからです。部活動では、自分でもとても頑張っていると思いますし、先生や家族からもそう言われます。しかし、勉強の方は「もっとできるはず…」とか、「頑張っていないでしょ…」などと言われます。自分でも頑張っていないと思います。今年は、学年としても、部活動の中でも最高学年になるので、中等部生活最後の年としてケジメをつけたいです。誰からも認められるように、全力で頑張りたいです。



ファイト。

### 阿部 泰己

2年A組 大田区立入新井第二小学校出身

今年の抱負は3つあります。まず1つ目は、苦手科目をなくすことです。僕の苦手科目は、英語・国語・社会で、暗記物が苦手なので、単語帳などを作ってテスト前だけではなく、毎日勉強してテストに備えたいです。2つ目は、部活動です。僕はいつも試合になると、あせってしまい他のチームメイトにも迷惑をかけてしまいます。なので、僕は練習でもしっかり緊張感をもってメンタル面を鍛えていきたいです。また、他のチームのフォワードの選手をしっかり抑えられるように筋肉もつけたいです。3つ目は、生徒会長としてしっかり生徒みんなを支えていくことです。去年の選挙で僕は生徒会長になりました。その立場に合った態度がとれるようにしっかりとまわりを見て、何事にも冷静に対処できるようになりたいです。

### 中野 裕太

2年B組 港区立白金小学校出身

2011年は、全てにおいてメリハリをつけて、徹底的に物事をこなしていきたいと思っています。昨年は何事も中途半端になってしまいました。しかし、今年は遊ぶ時は遊ぶ、勉強する時は勉強する、部活動をしている時は集中して部活動をする、というようにメリハリをつけて生活したいと思っています。

また、もう1つの抱負としては、定期テストで毎回絶対に平均点以上をとることです。これも昨年のように適当に勉強しないで、メリハリをつけて徹底的に勉強すれば、実現できるはずです。僕は、今まで5教科で平均点を一度も超えたことがありません。今年は絶対に達成したいと思います。

# 中 等 部 3 学 年 だ よ り

## テーブルマナー講座

12月15日(水)に中等部3年生は、来るニュージーランド海外英語研修旅行に向けて、テーブルマナー講座に参加しました。はじめは緊張の面持ちだった生徒たちも、講師の先生のわかりやすく丁寧な説明で、楽しく和やかな雰囲気でもナーを学ぶことができました。

### 永瀬 正博

3年A組 川口市立並木小学校出身

今回マナー講座で学んだことはたくさんありました。知っていたこともありましたが、知らなかったことも多くあり、いろいろな知識を得ることができました。例えば、ナイフの使い方です。僕は今まで雑なナイフの使い方をしていたんだと思い知りました。僕が雑なナイフとフォークの使い方をしていたら、スタッフの方が詳しく教えてくださいました。マナー講座を受けて、大切だなと思ったことは、自分のまわりの人たちに不快な思いをさせないように、より美しい食べ方を選択するということです。今回のマナー講座は、普段自分が考えていなかったことについて考えるいい機会だったと思います。これを機に、普段自宅で食事をする時もマナーに気をつけたいと思います。いろいろな料理が出てきましたが、先生が教えてくださったのでどの料理も美しくおいしく食べることができました。良い経験になったと思います。

### 飯田 亜海

3年B組 目黒区立油面小学校出身

私は今回、生まれて初めて「テーブルマナー」を学んできました。しかし私はあまり乗り気ではありませんでした。「他学年は休みなのになぜ私たちだけが…」とっていました。

けれども、現地に到着して驚きました。35階の窓から見える景色はまるでミニチュアの町のように、テーブルの上にあるたくさんのナイフやフォークは私をととても偉い人にしてくれるようでした。それから、講師の方に基本的なテーブルマナーを学び、実際に料理を食べながら実践してみました。初めはお礼を言うだけでも緊張していましたが、最後のデザートが運ばれてくる頃には、自然にお礼を返せるようになりました。

私は今回の講座を受けてよかったと思います。マナーは自分が相手を思いやる心だと学ぶことができたからです。大人になってもこれを忘れないようにしていきたいです。



## ニュージーランドに行ってきます!!

卒業試験終了後の2月15日(火)から、待ちに待ったニュージーランド海外英語研修旅行に行ってきます!! ニュージーランド海外英語研修旅行に向けて中等部1年生ではTokyo sightseeing tour、2年生ではEnglish summercampで英語に親しみ、3学年になってからは建学祭でニュージーランドの調べ学習を行ったり、数回にわたる事前指導を受けたり、ニュージーランドで披露する出し物を考えたりと、着々と準備を進めてきました。素晴らしい思い出をたくさん作ってきます。

### ニュージーランド海外英語研修旅行での活動

- クライストチャーチでの7泊のホームステイ
- クライストチャーチ市内でのフィールドワーク
- 現地校の授業に参加
- 牧場体験で羊の毛刈りショー
- 英語研修
- オークランド市内での自主研修



建学祭でのNZ調べ学習

# 高校1学年だより

## 高校現代文明論

高校1年生では、週に1時間「高校現代文明論」という授業を学級担任が行っています。授業の中で、社会問題について班ごとにテーマを決め、ポスターにまとめて発表を行いました。この発表を通して、自分たちが調べたテーマはもちろん、他の班の発表を聞いてさまざまな問題について理解を深めたようです。

### \*自分たちが調べたテーマについて感じたこと・考えたこと\*

**青木 弥子** 1年2組 川崎市立井田中学校出身

脳死とは法律上「人の死」とされています。しかし、自分の家族が判定を下された時、臓器提供に同意する決断を簡単にできる人はいないでしょう。ましてや脳死を死として受け入れられる人も多くないでしょう。最近は家族の同意のみで移植・提供が可能になりました。もし、自分の家族が脳死判定を下された場合、たとえ本人の意思があったとしても私はサインできないと思います。あるいは自分が判定を受けた時に、家族はどうするだろうかと不安を感じます。今、私たちがこの問題と向き合った時に最も大切なことは「話し合えること」だと思います。自身の家族、恋人、友人と脳死という死について話すことで変わる何かがあると思います。

**佐々木 大基** 1年5組 川口市立南中学校出身

水不足はとても身近な問題で、私たちの生活に深く関わっているということがわかりました。例えば、1日に使う水の量にしても、少し注意するだけで1リットルぐらひは減らせるでしょう。これを1年間続ければ、約360リットルの節水ができます。多くの人意識すれば大量の水の節約になり、水不足を防ぐことができるでしょう。私たちは生活の中で、正しい水の使い方についてもっと真剣に考えるべきだと思いました。

**岡田 憲皇** 1年9組 川崎市立南河原中学校出身

僕が調べたのは、バイオテクノロジーの中でもクローン技術分野です。クローン技術は食物の増産に貢献している他、医療の分野で使用されています。特にクローン羊のドリーなどは有名です。僕が目撃したいのは、このドリーに見られるような生き物への応用です。倫理的問題もあり、人への応用は規制されていますが、なぜ他の動物への応用には規制をしないのでしょうか。僕の個人的な意見ですが、人は神ではないので生殖なしに生き物を作り出してはなりません。クローンという素晴らしい技術が悪用され、クローン人間がたくさん生み出されたら何が起ころか想像もつきません。科学者だけでなく一人ひとりの配慮がさらに求められることになってきます。しかしクローン技術を用いて医療を発展させることは良いことであり、人類にとっても必要なことだと考えます。科学一般に言えることですが、クローン技術にも良い面と悪い面があることが今回新たにわかりました。

### \*今回のポスター発表について学んだこと(参考になったこと)\*

**佐藤 智也** 1年6組 墨田区立錦糸中学校出身

今回のポスター発表で、私が他の班を見て良いと思った点は、簡潔にまとまっていたところ、図が大きくてわかりやすかったところ、まとめがしっかり書かれていたところ。特に、ある班では文章がポスターにほとんど書かれていなく、図や表が目立つように描かれていました。また、その図や表の補足説明がとてもわかりやすく、トピックスとの繋がりも明確で話を聞くとどんどん引きこまれました。その発表と比べると、私たちのポスターは文字が多かったと思います。もし、また今回のような発表の機会があれば、今回の反省を次に活かし、よりよい発表を作り上げたいと思いました。



# 高校2学年だより

## 知的財産教育「東海大学付属高輪台高等学校」ロゴコンテスト

冬休みの課題で作成したものの中から、2学年の教員中心に選考を行いました。



グランプリ

### 3組 大関 翔輝

中心には海が描かれていて、そこに現在の校章にあるカモメを波に見立てて描きました。その下に書かれている「Jump&Go!!」とは、本校の冊子『飛躍』を英語化し、「前に進んでほしい」というメッセージを「Go」として表現しました。またTウェーブの下には本校がある東京のシンボルの建物を描き、本校が東京の中心にあることを表しています。最後に、皆さんに丸くやわらかい発想や考え方を大切にしてほしいと願い、型を丸(円形)にしました。



優秀作品



### 1組 向井 愛咲

「わかりやすく」をコンセプトにしました。



### 2組 長岡 茉利子

「高輪台」とわかるように入れました。



### 2組 浜島 大輔

「TAKANAWA」のT, K, N, W, Aを表しているマークです。



### 3組 平根 瑞穂

高輪台のけやきの葉と花をイメージしました。「TOKAI」の隣にあるのは飛躍を意味しています。



### 5組 片山 優太

「TOKAI」という文字を書かず、影を周りにつけて浮か出たせました。



### 7組 木村 京

有名なTウェーブと筆記体の「Tokai」を合わせたデザインにしました。



### 8組 高柳 志穂

東海大学付属高輪台高等学校の「TT」をアレンジしました。



# 高校3学年だより

## 特別講座紹介

高校3年生は卒業試験後の12月8日から1月31日までの期間、大学入学後の授業をスムーズに理解できるようにするため、進路別にクラス編成を行い、進路に応じた特別講座を実施しています。以下に、特別講座のいくつかを紹介します。

### 「校外学習 in 日本科学未来館」(地歴公民Ⅱ)

丸山 麻衣

3年2組 目黒区立第七中学校出身

私は今回初めて日本科学未来館を訪れ、見学をしました。館内はとても広く、短い見学時間の中でたくさんの場所を見るために、班員で見学ブースを分担することにし、私は「これからの医療」についてのブースを見ました。見学した際、わからなかったことを館内の方に質問すると、わかりやすい言葉と展示物を使って丁寧に説明していただき、おかげで理解することができました。特別講座で今回の訪問の機会に恵まれてよかったです。



### 「英語で学校紹介」(英語B)

勝村 明星

3年9組 大田区立馬込中学校出身

英語Bの授業では、学校見学者や外国から来校された方への学校紹介ビデオを作成しています。撮影した動画に英訳した音声をかぶせ、そこに日本語と英語の2種類の言語で字幕をつけます。番組構成やカメラ撮影、ビデオ編集、英訳、出演依頼なども、基本的に生徒だけで行っており、楽しんで観てもらえるよう、テレビ番組(ニュース)形式にすることなども考えています。今はまだ撮影中ですが、この『飛躍』が発行される頃には、素晴らしい作品に仕上がっていると思います。

### 「ネコうつし」(線形代数)

新3年5組担当 島 智彦 先生(数学科)

大学初年度の理系学部で重要な科目である「線形代数」を先取り学習しています。この科目は数学Cで学習する「行列」の単元の延長にあるものです。図形の移動をテーマとして「ネコうつし」の授業を行いました。行列の掛け算を行うことで、ネコがどのように変換されるかを考える授業です。数学の授業ではあまり行わないグループ学習を取り入れ、生徒たちが作業や討論を積極的に行うことを目的としました。教員が教え込むのではなく、生徒の発想を重要視して指導を行いました。



### 「結婚って、どう思う?」(国語2)

岡安 正悟

3年1組 板橋区立赤塚第三中学校出身

何なんだこの人は? それがこの特別講座で野口先生に感じた第一印象でした。講座での最初の授業のことです。「結婚ってどう思う?」先生はそう言って、適当に何人かの生徒を当て、その人の好みのタイプ、結婚に求める条件などを聞き出したのです。何だ、これは? 公開処刑か? 僕はそんなことを思いながら、自分が当てられないよう祈っていました。授業が進むにつれ、先生の人柄がわかってきました。この人は、自分たちがどうやったら幸せに近づけるのかをその人生経験から考え、必死に伝えようとしているのだと、僕は思いました。驚くような行為は、生徒たちの幸せを全力で考えた結果からくるものなのだ。これは、他の先生にも言えることだと思います。僕は特別講座を受けて、それがようやくわかりました。このことを忘れずに、先にある大学生活も頑張っていこうと思います。

# 第3回 スーパーサイエンス教室開催

12月18日(土)、スーパーサイエンス教室を本校で開催しました。スーパーサイエンス教室は、周辺地域の小学生を対象としたSSHクラスの生徒による科学教室です。東京工科大学の鈴木恒則先生による科学講座「手作り笛で合奏しよう!!」と、生徒による体験実験を行いました。当日は、小学生はもちろん保護者の方も楽しんで実験に参加していました。生徒たちはこの活動を通して、普段は学ぶことのできないことをたくさん吸収できたと思います。多くの方に来ていただきありがとうございました。

## 人に伝える楽しさ



**宮田 隼平**

3年9組 世田谷区立喜多見中学校出身

昨年行った「スーパーサイエンス教室」は、港区とその周辺の小学生を対象に、休日の午前中の時間のみを使って大学の先生による講義と、もう片方ではSSH生徒による実験を行いました。大学の先生による実験のテーマは「音」で、実際に小学生の子供たちと一緒にパンフルートを製作し、どのようにして音が鳴るのか、どうして音が鳴るのかをパワーポイントや、SSH生徒の実演によって説明しました。SSH生徒のみの実験では割れないシャボン玉の実験や紙飛行機の実験、グラス音階など身近な科学について

小学生にわかりやすく実験や解説を行いました。スーパーサイエンス教室の準備には、実験テーマ別にそれぞれのSSH生徒が夏休み前から実験を企画し、何度も委員会を開き、先生方と相談してどうすればより良いイベントになるかを必死に考えました。僕は、音の正体の説明とSSH生徒の実験の空気砲を担当したのですが、どちらも小学生が理解できるようにより簡単に説明を考え、実験が楽しくなるような工夫をしました。本番の日には、たくさんの小学生やその保護者の方々が来校してくださり、実験を楽しんでいただき、体験者が「おもしろい」と言ってくれるたびにやりがいを感じました。このイベントは外部の方々に自分たちの考えた実験を披露する、そして理科の楽しさを伝えることのできる貴重な機会でした。今後も地域の方々と交流できる機会がずっと存続することを、僕は切に願っています。

## 参加した小学生・保護者より

- パンフルートなどをつくるとき、SSHクラスの人々がやさしく教えてくれた。自分でうまくけずることができた。
- どの実験も、生徒さんたちがいていねいに対応してくれるので、楽しく実験できた。生徒さんたちが楽しんでいることに好感が持てた。
- 最初、音が出なかったがいていねいに吹き方を教えてくれた。吹けたとき、ほめてもらってうれしかった。
- 普段では見られない・やれない実験ができてよかった。

## SSH生徒による体験実験コーナー

テーマ	担当生徒(学年)
リバーシブルパズル	北出 紘章(2)・並木 涼(2)
平面敷き詰めパズル	小川 ルビ(3)・森 一史(2)
グラス音階	平田 将大(3)・明才地悠太(1)
空気砲	宮田 隼平(3)・清水 憲政(3)
葉脈標本	秋葉 咲希(3)・勝村 明星(3)
顕微鏡	剣持 瑛行(3)・瀬戸龍太郎(1)
シャボン玉	関口 佳祐(3)・小藤 佳奈(2)
スライムと磁性流体	渡久平瑞帆(2)・森田 友佳(1)
液体窒素	岩田 昌也(2)・矢野 琢弥(2)
紙飛行機	永田 貴之(3)・小川 雄樹(1)



大きなシャボン玉ができた!!



パズルはつくることからはじまります



うまく音が出るかなあ…

# 第29回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

2010年12月19日から28日まで、付属高校生が集まりヨーロッパ研修旅行に行ってきました。まずデンマークにある東海大学ヨーロッパ学術センターを訪れ、松前重義先生の建学の精神に改めて触れました。その後、ドイツ、オーストリア、フランス各国を訪れました。食事も流れている時間も違うヨーロッパの文化に触れ、生徒たちは多くのことを学んだようでした。



## 目にしたヨーロッパ



古橋 奏

3年3組 新座市立第四中学校出身

私がヨーロッパ研修に参加した理由は美術品や建築物を見るためです。街並みも観光地となっているヨーロッパの国々は予想以上に素晴らしいものでした。

EUという囲いがあっても、国境を越えればそこには違う文化や環境があります。日本は島国で飛行機や船を使わなければ他の国に行くことができません。しかし、ヨーロッパは大きな大陸の一部であり国が隣り合わせです。国の分かれ目は地図に引かれている一本線だけ。歩いてても国境が越えられるという当たり前のことがとても不思議に思えました。

バス移動が多いため、たくさんの人と話すことができ

ました。学校ごとで行う活動はほとんどなく、決められた班で行動します。仲良くなれるかなど最初は不安でしたが、最終的には別れがものすごく惜しく、今でも連絡をとったり会う約束をしたりしています。学校の友達とは少し違う繋がり仲間ができました。

私は自力でもう一度ヨーロッパに行きたいと感じました。日本との文化の違いはとても魅力的でもっと知りたいからです。この研修は、私に世界に踏み出すきっかけを与えてくれるものだったと思います。快く参加させてくれた両親にも感謝しています。



## TOKAI キャンパスメッセージ

### 社会福祉領域で働くソーシャルワーカーを目指してみませんか？

東海大学健康科学部社会福祉学科 准教授 小原 真知子

社会福祉と聞いて、皆さんはどのように想像されるでしょうか？ 私が社会福祉に興味を持ち始めたのは1980年代、ちょうど皆さんと同じ高校生の時でした。当時、まだ日本ではあまり知られていない、がんやエイズの患者さんが最期の時を過ごす病院・施設である「ホスピス」に興味を持ったのがきっかけでした。その病院・施設では医師や看護師でもない患者さんの心理社会的支援ができる専門職であるソーシャルワーカーがいることを知りました。その目標を達成すべく、大学3年生の時にアメリカへ留学し、その大学で老年学（高齢者領域の総合的学問）を専攻しつつ、ホスピスや高齢者施設での実習をさせていただきました。その海外留学を機に私の目指すものは病院で働くソーシャルワーカーだと確信しました。帰国後、日本の大学院で、病院の相談室で患者さんや家族の支援を行

う医療ソーシャルワークの勉強を続けました。卒業後は大学病院の相談室のソーシャルワーカーとして就職し、10年以上仕事を続けてまいりました。

患者さんは病気や怪我から生活上の問題や心理的問題を抱えます。その患者さんのつらさや悩みにソーシャルワーカーは向き合います。近年、医療機関では臓器移植の問題、終末期医療の問題、生殖医療の問題など、多様な問題が存在しています。その問題と取り組むためには自らの価値観を吟味し、専門職としての倫理観を身につけ、社会の幅広い福祉ニーズに応じた活動ができる高い専門性が求められています。

東海大学の社会福祉学科では高齢者、障害者、児童などを対象にしたさまざまな福祉の分野について学び、その援助技術や現場で実践する能力、加えて保健・医療・福祉との連携も視野に入れた総合的

理解、さらに、国際的な視野を広げることを目指しています。特に、アメリカのミシガン大学と提携し、海外研修を実施しています。このプログラムでは、日本の福祉を海外の視点から見つめ直し、改めてその問題点を見つけるなど、若い時にしかできない経験がたくさんできます。私が目指したソーシャルワーカーをあなたも目指してみませんか？



医療福祉論での発表会

## お知らせ

### 基礎力判定テスト 高1、高2

■ 日程 2月7日(月) ■ 試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。  
これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

### 中等部3年 ニュージーランド海外英語研修旅行

日程 2月15日(火)～24日(木)

クライストチャーチで7泊のホームステイと、オークランドで1泊宿泊します。  
英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、  
現地校訪問では現地の学校で授業に参加し、牧場では羊毛刈りショーを見学します。  
十分に準備をして素晴らしい思い出を作ってください。

## 行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(火) 中等部第1回入試(中高 自宅学習日)
- 2日(水) 中等部第1回入試合否発表
- 3日(木) 中等部第2回入試(中高 自宅学習日)
- 4日(金) 中等部第2回入試合否発表
- 7日(月) 卒業試験(中3、～9日)  
基礎力判定テスト(5教科)(高1、2)
- 8日(火) 木曜日の授業
- 10日(木) 高校一般入試  
(中1、Tokyo Sightseeing Tour、中2、3、高校 自宅学習日)
- 11日(金) 建国記念の日、一般入試合否発表
- 14日(月) 一般入学手続、答案返却日(中3)  
朝礼、短縮授業
- 15日(火) ニュージーランド海外英語研修旅行(中3、～24日)  
校医相談日
- 16日(水) 専門医によるカウンセリング
- 20日(日) 英検二次
- 25日(金) 振替休日(中3)、登校日(高3)

- 4日(金) 3年生を送る会(1時限)、高輪会入会式(高3)
- 6日(日) 中等部第2回卒業証書授与式(10:00)  
高校第62回卒業証書授与式(10:00)  
卒業祝賀会(14:30)
- 7日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 8日(火) 後期期末試験(高1、2、～11日まで)
- 9日(水) 後期期末試験(中1、2、～11日まで)
- 12日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス  
(高2 湘南校舎)
- 14日(月) 答案返却日、教科書販売(新中高3)
- 15日(火) 生徒休業日
- 16日(水) 成績不振者指導
- 17日(木) 修了式、離任式、教科書販売(新中高2)
- 23日(水) 基礎力判定テスト結果補習(高1、2、～28日まで)  
希望者講習(中等部、～28日まで)
- 26日(土) 後援会委員総会

## スポーツ大会(高校1年)



## 編集後記

「タイガーマスク」こと「伊達直人」なる人物が全国に出没を続けている。昨年暮れ、前橋の児童養護施設にランドセルが贈られて以来、全国各地の施設に届いた「タイガーマスク」などからのプレゼントは既に数百件ののぼり、社会現象化の様相を呈している。最初にメディアで大きく取り上げられたことによる「善意の模倣」の結果と思われるが、今後は「模倣」にとどまらない善意の広がりを望みたい。それにしても「善意」を待つ施設の子もたちが全国に3万人以上もいることに、あらためて驚かされた。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>